

(2) 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から

(1) 全体チャートの概要から

教科学力については、「算数」が全国基準よりもやや高い結果となっている。

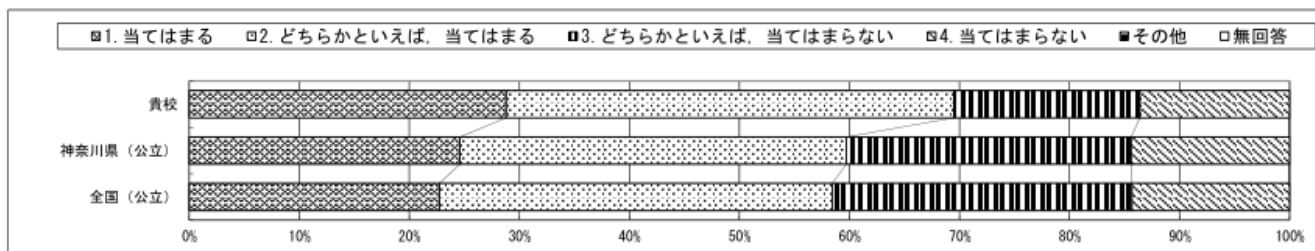
学習に対する興味・関心については、「国語への関心等」がやや高くなっている。

「規範意識」「自己有用感」「生活習慣・学習習慣」については、全国基準よりもやや低い結果となっている。

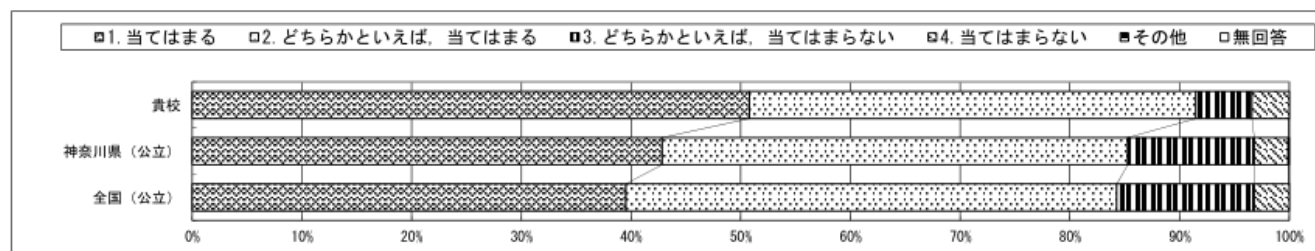


(2) 国語に関する調査の結果から

質問番号	質問事項										
(43)	国語の勉強は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	28.8	40.7	16.9	13.6						0.0	0.0
神奈川県(公立)	24.6	35.1	25.9	14.4						0.0	0.0
全国(公立)	22.7	35.7	27.2	14.3						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(45)	国語の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	50.8	40.7	5.1	3.4						0.0	0.0
神奈川県(公立)	42.8	42.4	11.5	3.1						0.0	0.1
全国(公立)	39.5	44.7	12.5	3.2						0.0	0.0



児童質問紙における「国語の勉強は好きですか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」への回答状況から、国語の授業の内容が児童にとってよく分かるものとなっていると言える。

国語の授業では、児童が多様な考えにふれ、自身で理解できるよう意見交流の時間を多く設定しており、国語の勉強が好きと答える児童が多くいることにも繋がっていると考えられる。

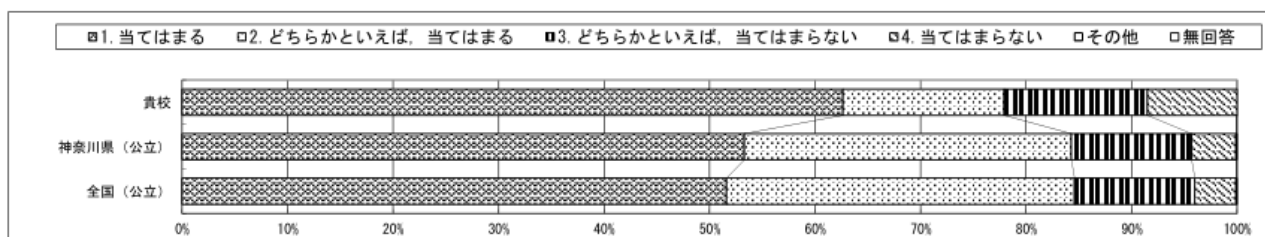
問題番号	2一	2三	2四
問題の概要	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているのかの説明として適切なものを選択する	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く
出題の趣旨	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する
全国(公立)正答率(%)	77.6	34.4	29.7
正答人数の割合(%)	69.5	47.5	25.4

調査問題の結果からは、「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること」はできているが、「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること」や「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること」に課題が見られた。

今後は、要旨(中心となる事柄)を把握するために、書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのか、どのような感想や意見をもっているのかなどに着目して、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えることのできるような授業を展開していきたい。また、文章を要約するために、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明する力も付けていきたい。

(3)算数に関する調査の結果から

質問番号	質問事項										
(54)	算数の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	62.7	15.3	13.6	8.5						0.0	0.0
神奈川県(公立)	53.3	31.0	11.4	4.2						0.0	0.1
全国(公立)	51.6	33.0	11.4	3.9						0.0	0.1



児童質問紙における「算数の授業の内容はよく分かりますか」への回答状況からは、授業の内容をよく理解している児童がいる一方で、あまり理解できていない児童も一定数いることが分かる。

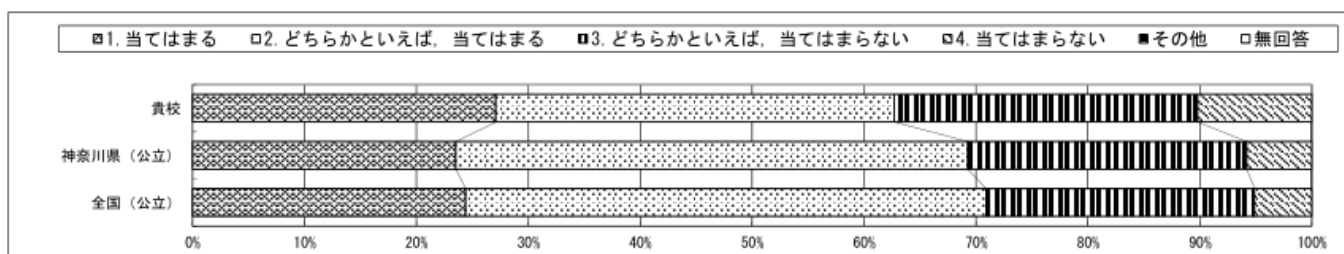
問題番号	2(1)	2(2)
問題の概要	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	直角三角形を組み合わせた図形の面積について、分かることを選ぶ
出題の趣旨	三角形の面積の求め方について理解している	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる
全国(公立)正答率(%)	55.1	72.5
正答人数の割合(%)	49.2	81.4

調査問題の結果からは、「複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること」はできているが、「面積の求め方について理解しているか」に課題が見られた。

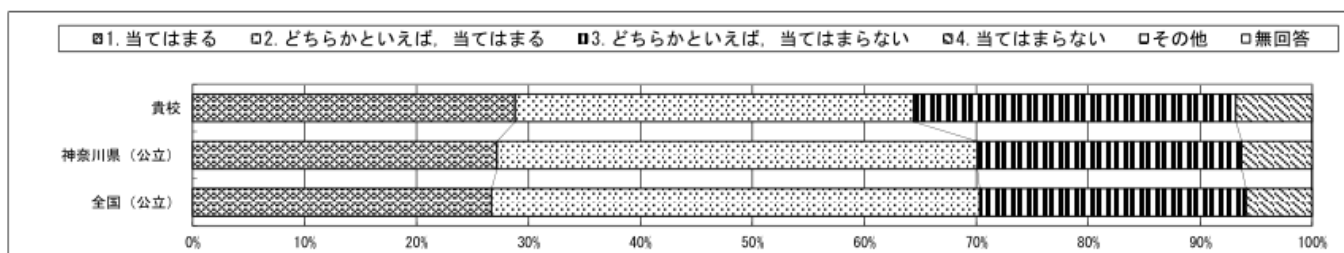
今後は、図形の面積の学習では、公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると面積を求めることができるのかを理解できるようにすることが重要である。また、公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し、必要な情報を選び出す力が身に付くような授業を展開していきたい。

(4) 自己有用感に関する回答状況から

質問番号	質問事項										
(9)	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	27.1	35.6	27.1	10.2						0.0	0.0
神奈川県(公立)	23.5	45.7	24.9	5.8						0.0	0.0
全国(公立)	24.4	46.5	24.0	5.1						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(14)	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	28.8	35.6	28.8	6.8						0.0	0.0
神奈川県(公立)	27.2	42.9	23.6	6.3						0.0	0.0
全国(公立)	26.7	43.6	23.8	5.9						0.0	0.0



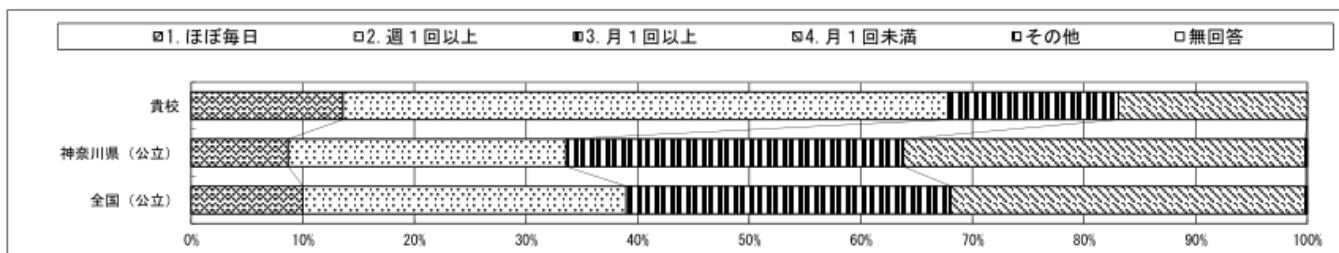
児童質問紙における「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦しているか」「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができるか」については、約35%の児童が「(どちらかといえば)当てはまらない」と回答しており、全国基準よりもやや高い結果となっている。失敗するのが怖い、自分に自信がもてない、ことから自己有用感の低下に繋がっていると考えられる。

そこで、本校ではふり返りカードを記入する時間を毎日設定し、児童の行動を価値づけ、励ましを行っているところである。

(5) 課題解決に向けた今後の取組について

多くの児童が「国語の勉強は好き」と回答したように、どの教科においても前向きに学習に取り組むことができるよう、児童にとって分かる授業作りを進めていきたい。

質問番号	質問事項										
(27)	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	13.6	54.2	15.3	16.9						0.0	0.0
神奈川県(公立)	8.7	24.9	30.2	36.0						0.1	0.1
全国(公立)	10.0	29.0	29.1	31.7						0.1	0.1



また、児童質問紙における「コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用したか」の回答状況にも表れているように、本校では授業の中でタブレットを中心にICT機器を比較的活用している。今後もICT機器を有効に活用しながら、児童同士の学び合いを深めたり、課題解決する力を高めたりできるようにしていきたい。自分に自信をもち、自分のよさ、友達のをよさを実感できることが、自己有用感を高めることにも繋がると考えられる。